

【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

体育科での活動

右のジャムボードは体育科での学習活動の資料である。資料Aは、思考ツールを用いて各自が課題解決に向けて情報を収集し、整理・分析したものである。

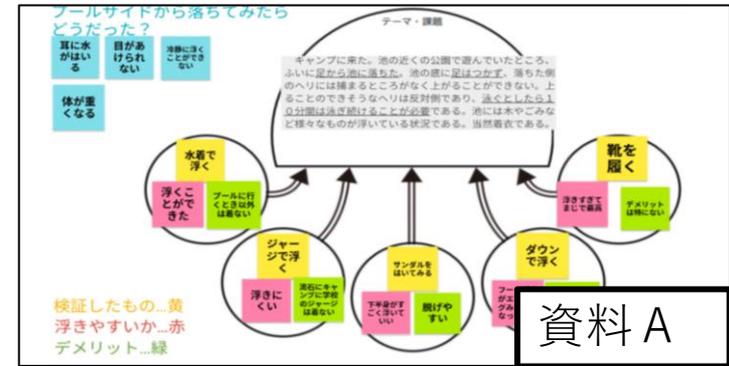
資料Bはゴール型競技を行う単元においてジャムボードが共同編集できる利点をいかし、チームで作戦をまとめた資料である。このような活動をする中で、運動が苦手な生徒も、対話的な活動に積極的に参加し、運動場面においても単元目標に迫る姿が見られるようになった。

このように、体育科においても課題解決に向けて個別最適な学びをすすめ、チーム競技の利点をいかして協働的な学びを実践している。

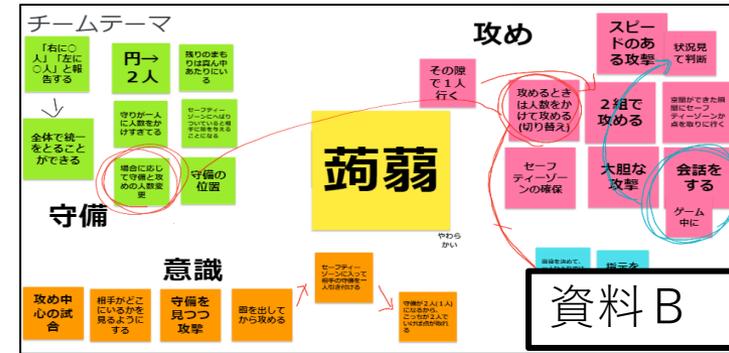
まとめ

以上のように、教科横断的な視点に立った資質・能力の1つとして、GIGA端末を用いた情報活用能力の育成を目指した学習活動を行っている。GIGA端末を用いることで、生徒は情報の収集や整理・分析方法を容易に行うことができ、クラウド環境下でこれまで以上にそれぞれの考え方や思考の仕方を共有しやすくなった。また、教員も各生徒の進捗状況を把握しやすくなり、生徒に必要な支援を講じやすくなった。

教科横断的に行うことで、場面に応じた情報の収集、整理・分析方法を選択できるようになってきた。まさに、情報を主体的に捉え、主体的に考えようとする姿である。



資料A



資料B